

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第7区分
 【発行日】平成27年5月14日(2015.5.14)

【公開番号】特開2014-189373(P2014-189373A)
 【公開日】平成26年10月6日(2014.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報2014-055
 【出願番号】特願2013-66984(P2013-66984)
 【国際特許分類】

B 6 6 B 7/00 (2006.01)

B 6 6 B 5/00 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 7/00 K

B 6 6 B 5/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月26日(2015.3.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エレベータの主ロープを取り替える時に用いられ、架台を介して昇降路内に設けられた巻上機の近傍に配置される主ロープ取り替え用補助具であって、
貫通孔が形成されたガイドと、

前記ガイドが設けられ、ロープ出入口から前記巻上機の外に出た主ロープが前記貫通孔を通過するように前記ガイドを配置するための支持体と、

前記支持体を前記架台に固定するためのボルトと、
を備え、

前記ガイドは、前記支持体が前記ボルトによって前記架台に固定されることにより、前記巻上機より上方に配置される主ロープ取り替え用補助具。

【請求項2】

前記ガイドは、

第1凹部が形成された第1ガイド部と、

第2凹部が形成された第2ガイド部と、

前記第2ガイド部を前記第1ガイド部に固定するための固定手段と、

を備え、

前記固定手段によって前記第2ガイド部が前記第1ガイド部に固定されることにより、前記第1凹部と前記第2凹部とによって前記貫通孔が形成される請求項1に記載の主ロープ取り替え用補助具。

【請求項3】

前記支持体は、前記架台のうち前記巻上機より上方に配置された部分に前記ボルトによって固定され、

前記ガイドは、前記支持体が前記ボルトによって前記架台に固定されることにより、前記架台より上方に配置される

請求項1又は請求項2に記載の主ロープ取り替え用補助具。

【請求項4】

前記支持体に、前記貫通孔の軸方向に長手を有する長孔が形成され、

前記支持体は、前記長孔を介して前記ボルトによって前記架台に固定され、前記支持体を前記架台に固定する際に、前記ガイドの位置が上下方向に調整可能である請求項 1 から請求項 3 の何れか一項に記載の主ロープ取り替え用補助具。

【請求項 5】

前記支持体を前記架台に固定する際に、前記ボルトの軸が前記巻上機の綱車の回転軸と平行になるように配置され、前記ガイドの位置が前記ボルトの軸を中心に回転する方向に調整可能である請求項 1 から請求項 4 の何れか一項に記載の主ロープ取り替え用補助具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この発明は、上述のような課題を解決するためになされたものである。この発明の目的は、主ロープの取り替えを行う際にその作業を円滑に行うことができる主ロープ取り替え用補助具を提供することである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この発明に係る主ロープ取り替え用補助具は、エレベータの主ロープを取り替える時に用いられ、架台を介して昇降路内に設けられた巻上機の近傍に配置される主ロープ取り替え用補助具であって、貫通孔が形成されたガイドと、ガイドが設けられ、ロープ出入口から巻上機の外に出た主ロープが貫通孔を通過するようにガイドを配置するための支持体と、支持体を架台に固定するためのボルトと、を備え、ガイドは、支持体がボルトによって架台に固定されることにより、巻上機より上方に配置されるものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この発明に係る補助具を使用することにより、エレベータの主ロープの取り替えを行う際にその作業を円滑に行うことができる。